

(6) 東海



東海地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す
(は上方に変更、 は下方に変更)

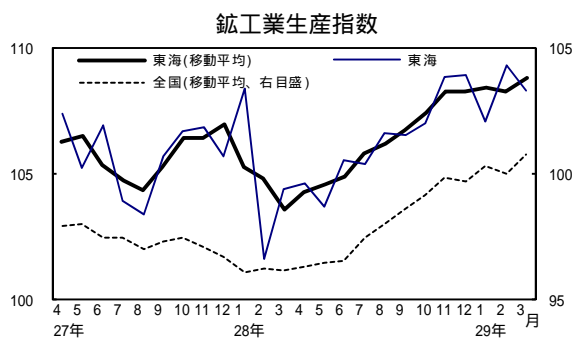
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 29 年 2 月)	今回 (平成 29 年 5 月)	
住宅建設	増加	おおむね横ばい	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

1～3月期には、輸送機械は、新車効果が一巡した影響を受け減少した。電子デバ、電気・情報通信は、スマートフォン用電子部品等が増加したことから増加した。石油・石炭製品、化学プラ製品は、減少した。汎・生産・業務用機械は、増加した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10～12 月期	1～3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	35.2	0.9	1.6	4.9	4.0	0.3
電子デバ、電気、情報通信	19.7	3.7	1.1	1.7	0.6	4.5
石油・石炭製品、化学、プラ製品	14.9	0.5	0.7	0.5	0.2	1.1
汎・生産・業務用機械	8.9	5.5	2.9	3.3	4.5	4.5
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.0	2.2	1.4	0.3	3.7	3.4
鉱工業	100.0	1.9	0.0	1.7	2.1	0.9

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

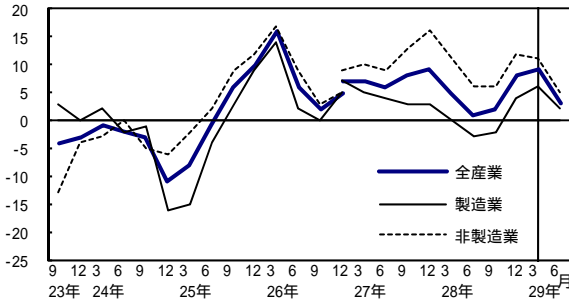
2. 1～3月期、3月は速報値。

- (備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。
3. 東海は内閣府にて算出。

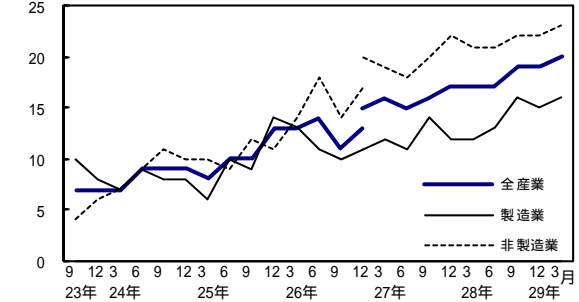
(2) 名古屋支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。
静岡支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

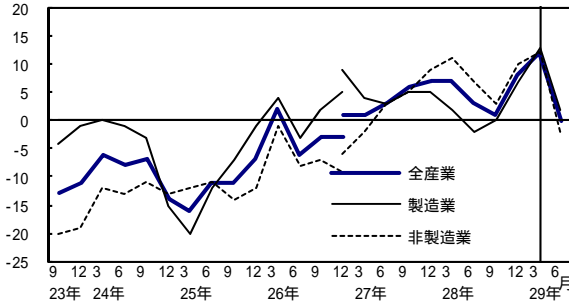
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [業況判断]



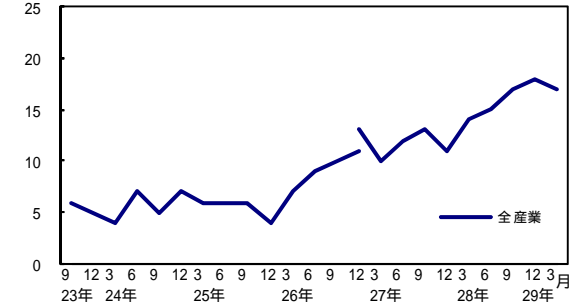
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [業況判断]



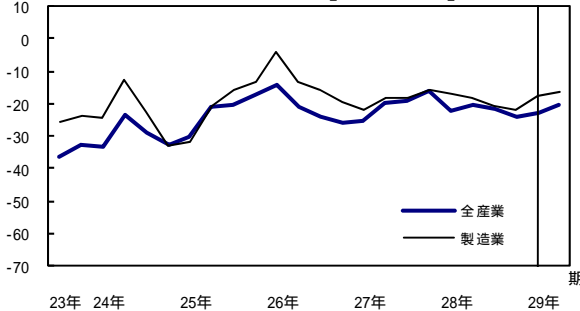
(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年6月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



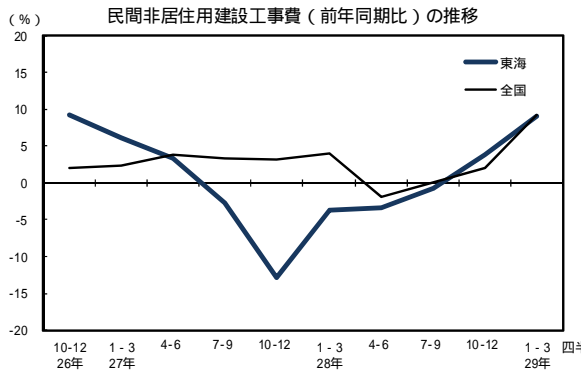
(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「4月に入ってから1日当たりの荷物量が前年同期を上回るようになっており、3か月前と比べるとやや上向きである(輸送業)」などの回答がみられた。

(6) 東海

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資 (3月調査)]

	(前年度比、%)	
	28年度見込み	29年度値
全産業		
名古屋支店	7.5	1.6
静岡支店	2.2	5.3
製造業		
名古屋支店	5.3	0.5
静岡支店	5.9	12.6
非製造業		
名古屋支店	10.2	3.0
静岡支店	2.2	4.0

(備考) 22年度以降は、計画はリース会計対応ベース。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

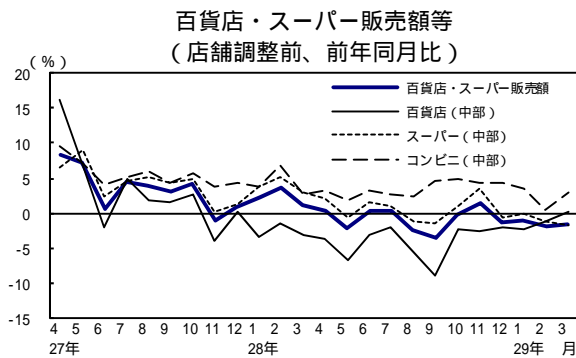
1月は前月比0.5%増、2月は同0.1%増、3月は同0.3%増となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1～3月期は改装効果、催事による動きがみられたものの、売り場面積の減少に加え、衣料品の不振が継続していることから、前年を下回った。スーパーは、衣料品の不振が継続していることに加えて、飲食料品が振るわなかったことから、前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「3月の決算月が終了し、4月に入ってからは一気に販売量が少なくなっている (乗用車販売店)」など、「悪くなっている」とする回答が増加した。



	29年1-3月	29年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.7	0.5	0.1	0.3
百貨店・スーパー(*2)	1.5	1.1	2.0	1.5
百貨店(*3)	1.1	2.3	1.3	0.3
スーパー(*3)	1.0	0.1	1.3	1.8
コンビニ(*3)	2.3	3.6	0.4	2.9
乗用車(*4)	6.7	2.0	7.7	8.9
(季節調整値)(*4)	2.8	7.7	3.2	0.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

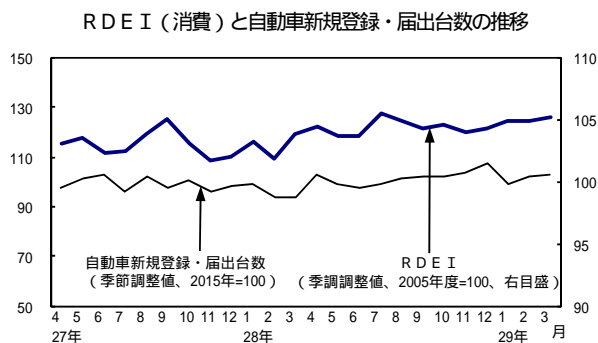
2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

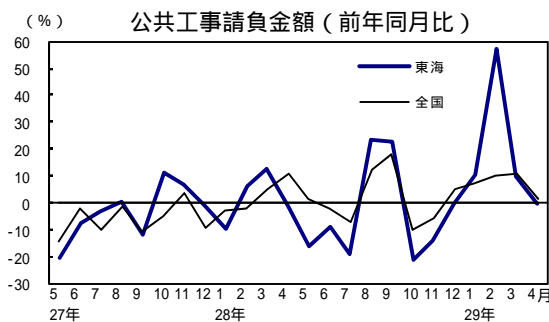
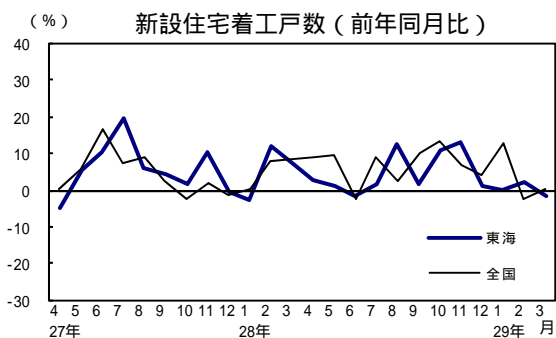
百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部 (富山、石川、岐阜、愛知、三重) の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))



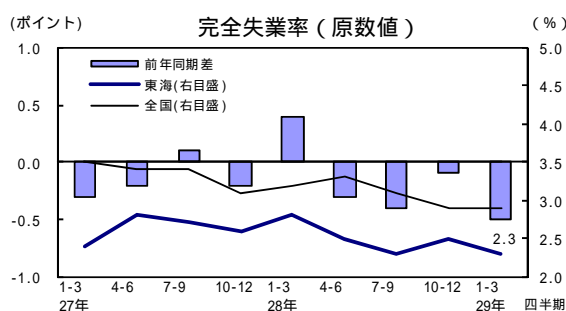
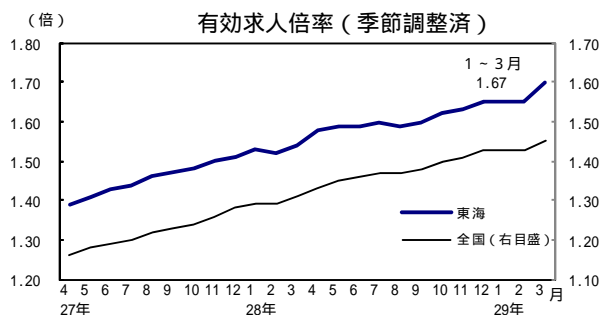
(2) 住宅建設はおおむね横ばいである。
 持家が前年を下回ったものの、貸家が上回ったことから、全体ではおおむね横ばいである。

(3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。
 有効求人倍率及び完全失業率
 有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



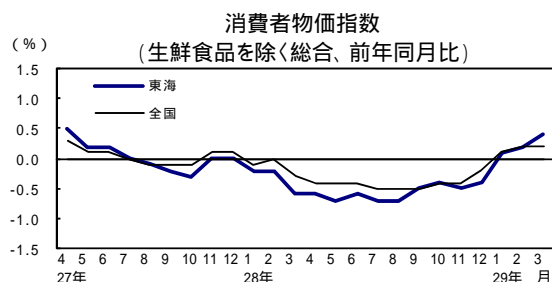
景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[雇用関連(現状)]
 「管内の主要産業を始め、物流や飲食サービス等、多くの業界で求人が増える一方、求職者は減少している(職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は増加している。

(3) 消費者物価指数は上昇に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年4-6月	7-9月	10-12月	29年1-3月	29年4月
倒産件数	271	252	262	238	85
(前年比)	4.6	0.4	21.9	2.5	25.0
負債総額	535	326	431	428	154
(前年比)	6.6	33.0	35.4	10.9	2.2



(6) 東海

景気ウォッチャー調査（4月調査結果）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

- ・当圏域のケーブルテレビ事業者は、競合する通信事業者や電力系事業者への対抗と4K・8K放送の本格化に向けて、ネットワークの光回線化が急務で、設備投資が盛んになりつつある（電気機械器具製造業）。

<先行き>

- ・6月後半からはボーナス商戦が始まり良くなる（乗用車販売店）。

景気ウォッチャー調査（季節調整値）

